

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2005-337652(P2005-337652A)

【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2004-160685(P2004-160685)

【国際特許分類】

F 24 C 15/16 (2006.01)

A 47 J 37/06 (2006.01)

【F I】

F 24 C 15/16 Y

A 47 J 37/06 3 6 1

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月11日(2008.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

食品を収納し加熱する調理室と、

前記調理室の前面開口を開閉する扉と、

前記食品を載せる網棚がセットされて前記調理室内に取り出し自在に配置され、前記食品からの飛散物を受ける受け皿と、

前記受け皿に固定され、前記扉と着脱自在に係合する係合部材とを備え、

前記係合部材は、前記扉に当接する当接面と、該当接面の両端部から前記受け皿に延設して固定される側面とを有すると共に、前記当接面及び側面に、連続したビードを設けたことを特徴とする加熱調理器。

【請求項2】

前記係合部材は、絞り加工により加工されて、前記当接面及び側面を形成することを特徴とする請求項1に記載の加熱調理器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

ここに、扉と受け皿をがたつきなく取り付ける例として、上記特許文献1では、折り返し部形状を工夫している。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

本願発明はこのような課題を解決するためになされたものであり、調理室の扉と受け皿を着脱自在に係合する係合部材の部品精度や強度が向上した加熱調理器を提供することを目的とするものである。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

上記のような目的を達成するために、本願発明は、食品を収納し加熱する調理室と、前記調理室の前面開口を開閉する扉と、前記食品を載せる網棚がセットされて前記調理室内に取り出し自在に配置され、前記食品からの飛散物を受ける受け皿と、前記受け皿に固定され、前記扉と着脱自在に係合する係合部材とを備え、前記係合部材は、前記扉に当接する当接面と、該当接面の両端部から前記受け皿に延設して固定される側面とを有すると共に、前記当接面及び側面に、連続したビードを設けたことを特徴とするものである。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

【図1】本願発明が適用される加熱調理器の一例として据置型のグリル付き誘導加熱調理器を示す斜視図。

【図2】上記調理器におけるロースター部の扉と受け皿の係合構造及び係合方法を示す図。

【図3】上記受け皿に溶接固定する前の係合部材を示す構成図。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】削除

【補正の内容】